



南足柄小学校だより

進取の気象



R4. 9月号

教室のカーテン&窓 ピカピカに

八月下旬、今年度のPTA役員の方々が来校し、カーテンを洗濯し、窓を磨いてくださいました。ありがとうございました。



～教室が明るく～

来年度、学校創立百五十年に向けて

九月十四日(水)、PTA本部役員会及び運営委員会では来年度の大きな事業である創立百五十年に向けて、学校から提案させていただいた主な内容は次のとおりです。

- 式典の開催 (五月下旬～六月上旬の間で)
- 記念品(内容は、検討中)
- 児童によるお祝い集会
- PTA及び地域と協力・連携のもと実施する。

一学期を振り返って・・・

自分の役割を責任もって果たし、仲間と協力する大切さを学ぶ子どもたち

新型コロナウイルス感染症第七波の猛威により、夏休み後も感染症対策を徹底させながら、学校は再開されました。早いもので、一学期もあと二週間です。今年度、四月から全校で取り組んでいる「児童五つの問いかけ」を八月二十九日(月)の夏休み明け朝会で話題にし、五つのうちの一つ、「だまってそうじに焦点を当てて話をしました。去る七月に運営委員会主催の児童代表委員会で、そうじの仕方を全校でふりかえり、そうじ中の私語が多いことについて真剣に考え、話し合う子どもたちの姿がありました。その後、代表委員会でのそうじの反省を受けて、清掃担当の職員が中心となって、全職員で本校のそうじの



一生懸命そうじをする子どもたちに「ありがとう」と声をかけました。



5、6年の運営委員さんと校長室でそうじについて話し合いました。

状況や清掃のめあてについて再確認する場を設け、共通理解を図りました。私は、このような子どもたちや教職員の主体的な取組を前述の朝会で紹介しながら、そうじを通して、『自分の役割を責任持って果たすこと』『仲間と協力すること』の大切さを学んで欲しいことを伝えました。その後、九月十六日(金)、運営委員会の五、六年生が今後のそうじについて全校の新たな取り組みを校長室に来室して話してくれました。学校全体の自主性と連帯感のすばらしさに改めて感心しました。「黙々(もくもく)そうじ」をめざして二学期も取り組み、南足柄小を気持ちのよい笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思えます。

◆令和四年度「学期末個別面談」◆

九月二十六日(月)～三十日(金)の五日間

子どもたちは一学期のめあてを立てて取り組んできました。四月からの半年間の成長の歩みを保護者の皆さんと振り返り、二学期に向けて新たなめあてをもって努力をしていけるよう、学校と家庭とが子どもたちの成長を共有する大切な場として、学期末個別面談を活用していきたいと思えます。なお、一学期の通信表の記述部分は、今回の個別面談での伝達をもって換えさせていただきます。よろしくお願ひします。

一学期、保護者及び地域の皆さんには、子どもたちの健康・安全と健やかな成長のために、学校と連携くださり、感謝申し上げます。



畑を整備してくださったボランティアさん